

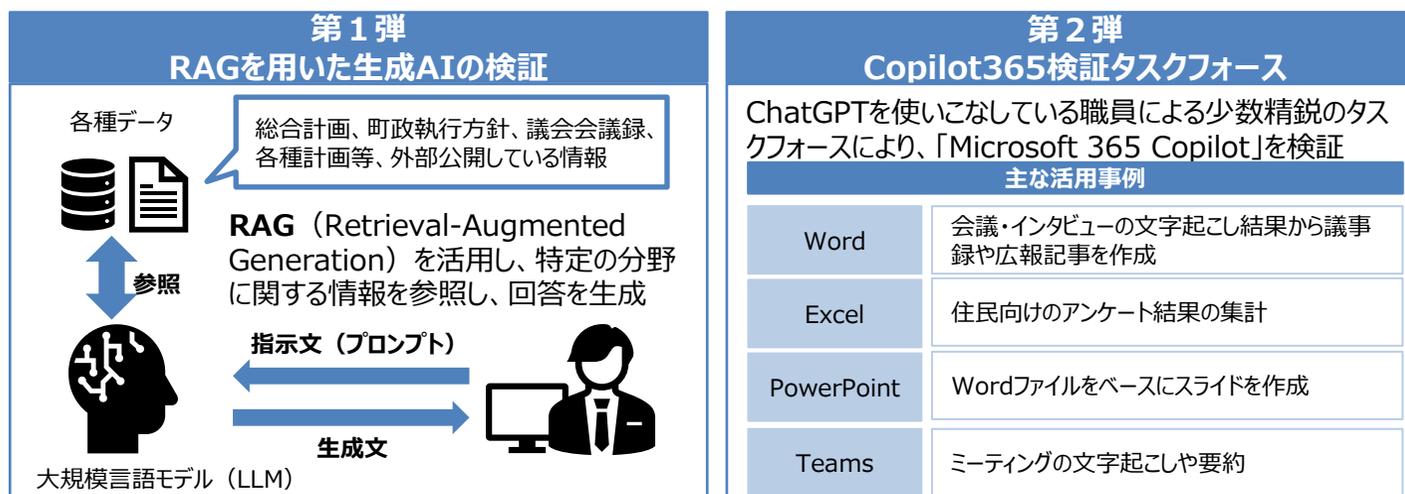
22 現場職員からのボトムアップによる生成AIの導入検討・活用【北海道当別町】



- 議事録の要約や広報などの文書作成等を中心に、分野を問わず生成AIを幅広く活用
- 現場の職員が中心となり、RAGを用いた生成AIやMicrosoft 365 Copilotの検証を実施

事業の概要

- 令和6年度より、「**チャットGPTを越えてゆけ企画**」として、**RAGを用いた生成AIやMicrosoft 365 Copilotの検証を実施**。大規模言語モデルに特定の分野に関する情報を参照させる**RAGの活用により、精度が高い回答を生成**。
- ChatGPTを使いこなしている職員によるタスクフォースを組織するなど、**現場の職員が中心となりボトムアップで取組を推進し、議事録作成やデータ処理・分析、スライド作成などにMicrosoft 365 Copilotを活用すること**で業務の効率化を実現。
- 広報公聴係では、AI文字起こしと生成AIの文章作成機能を併用し、インタビュー音声から広報記事案を作成。デジタル都市推進係では、Excelのグラフ作成を自動化し、住民アンケートのまとめ資料案を作成。



＜チャットGPTを越えてゆけ企画＞

22 現場職員からのボトムアップによる生成AIの導入検討・活用【北海道当別町】

事業効果



- 現場職員が中心となって検討を進めたことで、生成AIについて、普段の業務を効率化できる便利なツールの一つとして認識が浸透し、議事録の要約や広報などの文書作成等を中心に、分野を問わず生成AIが活用されている。
- 議事録作成に要する時間が半減している。（従来型AIで音声テキストに変換し、そのテキストデータを生成AIで要約することで、効率的に議事録を作成できている。）
- 広報案の作成時に、より良い文章表現に向けた提案を受けることができるため、わかりやすい広報文を簡単に作成できるようになったほか、生成AIからの提案内容が学びとなり、職員の表現能力が向上した。

コスト



※主にシステム導入等に係るコストを記載

イニシャルコスト ※税抜	－円	ランニングコスト(1年あたり) ※税抜	1,356千円
(内訳)	－円	(内訳) ・LoGoAIアシスタントbot版 ・Microsoft 365 Copilot	924千円 432千円
(備考)		(備考) RAGの構築に係るコストについては、事業者との協定により、令和6年度は無償	



スケジュール

検討開始から導入までの期間 11か月

スケジュールの内訳

R4.12	導入検討の開始
R5.5	職員向け勉強会の開催・ガイドライン作成
R5.7～9	ChatGPTの実証実験の実施
R5.10	本格導入
R6.3～	「チャットGPTを越えてゆけ企画」



サービス提供事業者等

サービス提供事業者	株式会社トラストバンク
サービス名	LoGoAIアシスタントbot版
運用形態	パッケージ製品をクラウド環境で運用
その他参画主体	Microsoft



担当部署 当別町デジタル都市推進課

電話 0133-23-3767

メール it-joho@town.tobetsu.hokkaido.jp

22 現場職員からのボトムアップによる生成AIの導入検討・活用【北海道当別町】



(総務省)

生成AIの導入経緯・きっかけを教えてください。

業務効率化を目的としてDXを推進していた中でChatGPTが公開されたことで、**生成AIの導入を早急に検討し、現場職員からのボトムアップで取組を進めてきました。** ChatGPT公開から約1か月後に、導入に向けた検討を開始し、実証実験を経て、**令和5年10月に全庁でLoGoAIアシスタントbot版を導入しています。**

**生成AIの利用拡大を進めるにあたり、工夫した点を教えてください。**

「チャットGPTを越えてゆけ企画」として、**RAGを用いた生成AIの検証と、「Microsoft 365 Copilot」の検証**を行ってきました。「Microsoft 365 Copilot」の検証に当たっては、**ChatGPTを積極的に活用している職員の中から少数精鋭のメンバーを選考し、タスクフォースを組織しました。**「チャットGPTを越えてゆけ企画」をはじめ、**ボトムアップで取組を推進したことが効果的であったと感じています。**

また、「週刊マガジン」の発行や、勉強会・説明会の実施、庁内掲示板による好事例の共有などの取組により、幅広い職員の利用を促進してきました。

**主にどのようなシーンで生成AIを活用していますか。**

主に、**議事録の作成や広報文章の校正**において活用されており、業務効率化につながっています。例えば、議事録の作成に関しては、音声からの文字起こしが可能なAIツールと組み合わせ、LoGoAIアシスタントbotで要約することで、これまで会議時間の4倍程度の時間がかかっていたものが、**作業時間を1/4まで削減することができています。**

また、広報文章の校正についても、文章表現の添削を繰り返すことで、**わかりやすい広報文を簡単に作成できるようになっただけでなく、生成AIからの指摘が学びとなり、職員の表現能力も向上していると感じています。**

**今後の展望や課題を教えてください。**

「チャットGPTを越えてゆけ企画」として検証してきた**RAGや「Microsoft 365 Copilot」については、業務効率化につながることを確認しており、今後、全庁的な展開に取り組んでいきたいと考えています。**

また、令和7年度から、町のホームページにおけるページ内検索を行った際に表示する結果の作成に生成AIを導入することを予定しており、**市民サービスの向上に向けても生成AIを活用していきたいと考えています。**



(当別町)



【参考情報】 北海道当別町人口：1.5万人（令和6年1月1日現在）

関連URL：当別町デジタル都市推進課note (https://note.com/town_tobetsu_dig)